

# 神戸大学経済経営研究所 創立100周年記念事業募金趣意書



1921年(大正10年)頃の  
神戸高等商業学校商業研究所  
(兼松記念館(旧館))



2016年(平成28年)神戸高等商業学校商業研究所跡地  
(現 神戸市立葺合高等学校)



1934年(昭和9年)神戸商業大学商業研究所  
(兼松記念館竣工時)



2016年(平成28年)神戸大学経済経営研究所  
(兼松記念館)

神戸大学経済経営研究所  
100周年記念事業実行委員会

## 募金趣意書

神戸大学経済経営研究所は、国内および海外の商業・経済に関する実証的・総合的研究を目的として、大正8（1919）年10月、神戸高等商業学校・商業研究所として創設されました。爾来、経済経営に関する資料と重要統計の整備、研究成果の出版、各種講演会・セミナーの開催を継続的に行ってきたほか、第二次世界大戦前に端を発する、当時最新鋭の電動計算機を用いた経営機械化研究や、海外移民や資源貿易を通じて神戸とゆかりのある南米や豪州の研究といった、我が国では他に類を見ない研究も行ってきました。また、神戸大学の経済経営分野における国際研究交流と大学院教育にも積極的に役割を果たしてまいりました。

今日、経済経営研究所は、神戸大学唯一の附置研究所であり、我が国の社会科学系の国立大学附置研究所では最も長い歴史と伝統を誇っています。さらに、我が国において経済学・経営学の両分野を掲げている唯一の国立大学附置研究所として、我が国の経済経営分野における研究の中核としての機能を果たしています。

神戸高等商業学校商業研究所規定に謳われた「学術の進歩」と「商業の発達」の2つの目的は、創設者である初代校長水島鍬也先生の教えである「学理と実際の調和」に通じるものであり、経済経営研究所はこのルーツを大切に、学問を飛躍的に発展させるような新しい概念の創出と日本経済の持続的成長と国際社会の安定的発展に貢献する提言の発信の両方を社会の負託と考えています。さらに、神戸大学第3期中期計画で謳われているように、企業資料等の整備・データベース化・公開を進め、高度な検索システムを構築するなど、共同利用・共同研究機能を向上させ、神戸大学長期ビジョンが目標に掲げる「先端研究・文理融合研究で輝く卓越研究大学」実現に向けて貢献してまいります。

今般、経済経営研究所が平成31（2019）年に創立100周年を迎えるにあたって記念事業を実施することは、これまでに蓄積してきた実績を次世代に継承し、さらに、特色を生かして展開するこれからの新しい取り組みについて、研究者コミュニティ、産業界、市民社会と意見交換を行ってアイデアを発展させる機会を広く持とうとするものです。

つきましては、この意義ある記念事業を実施するために資金を募ることといたしました。募金目標金額は7千万円、募金期間は平成31年12月までを予定しております。卒業生諸氏はもとより、広く産業界その他諸方面のお力添えを賜りたく、なにとぞこの趣旨にご賛同くださいまして、本目標達成に格別のご高配を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

記念事業の内容は、以下のとおりです。

○主要事業

1. 手書き資料を研究利用しやすいデータベース化するための、最先端の画像処理・認識技術を応用した技術と検索エンジンの開発
  - (1) 神戸大学関連資料
    - 神戸高等商業学校の人材育成が当時の社会に与えた影響を知る重要資料である、水島鍊也校長の書簡（明治35年11月から大正13年9月まで計6冊、全1342頁）、および校長が卒業生に発給した推薦書（明治44年1月から大正7年6月まで計6冊、全2802頁。）。
    - 神戸経済大学時代に経営機械化研究を開始し画期的な文理融合を進めた経緯を知る貴重資料である、平井泰太郎経営機械化研究所長と宮田喜代蔵経済経営研究所長の往復書簡。
    - 製造業や流通業の綿密な実地調査を重視した神戸高等商業学校の教育方針により作成され、貴重な資料的価値を持つ卒業論文（明治40年3月から昭和7年3月卒業分までの約4500冊）。
  - (2) 長寿企業データベース
    - 100年以上もしくは100年に迫る歴史を誇る企業が所蔵する資料に脚光を当て、世界的にも稀有な日本の長寿企業の価値を再評価。
    - 兼松資料（明治22年～平成12年）、鐘紡資料（明治19年～平成2年）等の経済経営研究所所蔵の企業資料から順次データベース化。
2. ビッグデータやスーパーコンピューターを活用した新たなデータベース構築や大規模シミュレーション等に基づく社会経済経営分析と将来予測
3. 社会科学と計算科学に基づく文理融合研究（計算社会科学）を推進する国際学術雑誌を世界に先駆けて創刊・確立
4. 『経済経営研究所100年の歩み』を始めとする記念刊行物の出版
5. 記念シンポジウム等のイベント開催

平成30年11月吉日

神戸大学長	武田 廣
神戸大学経済経営研究所長	濱口 伸明
神戸大学法学部長・大学院法学研究科長	大西 裕
神戸大学経済学部長・大学院経済学研究科長	中西 訓嗣
神戸大学経営学部長・大学院経営学研究科長	上林 憲雄
神戸大学大学院国際協力研究科長	陳 光輝
一般社団法人凌霜会理事長	大坪 清
公益財団法人神戸大学六甲台後援会理事長	高崎 正弘
公益財団法人兼松貿易研究基金代表理事	下嶋 政幸

## 募 金 要 領

### ■寄附の振込方法

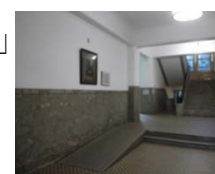
1. 所定の払込用紙(赤色4連式)申込書に住所、電話番号、氏名(フリガナ)、金額等の必要事項をご記入の上、金融機関窓口にてお振込みください。
2. ゆうちょ銀行、郵便局、三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、みなと銀行を利用いただきますと振込手数料が無料となります。
3. WEB申込みの際は『事業の種類』で『その他』をお選びいただき『上記でその他を選択された方は・・・』の欄に『研究所100周年』と必ずご記入ください。  
WEB手続きについては研究所ホームページ <http://www.rieb.kobe-u.ac.jp/>でもご案内しています。
4. ご不明な点は下記お問合せ先にご連絡ください。

### ■寄附金の税制上の優遇措置

1. 当寄附金は、税制上の優遇措置を受けることができます。ご入金いただきますと「寄附金領収書」をお送りします。「寄附金領収書」は確定申告等に必要となりますので、大切に保管ください。
2. 【寄附者が法人の場合】  
寄附金の全額が損金参加できます。
3. 【寄附者が個人の場合】  
所得税の優遇措置  
寄附金額（寄附金の合計額が総所得金額等の40%を上回っている場合、総所得金額等の40%）から2千円を除いた額について所得控除を受けることができます。  
個人市民税の優遇措置  
神戸市市税条例により指定を受けていますので、本学に寄附した翌年の1月1日に神戸市にお住まいの方は、個人市民税の税額控除を受けることができます。  
寄附金額（寄附金の合計額が総所得金額等の30%を上回っている場合、総所得金額等の30%）から2千円を除いた額に6%を乗じた額が、寄附した翌年度の個人市民税から軽減されます。

### ■ホームページへの掲載、銘板、記念椅子、感謝状と記念刊行物

1. 【ご芳名のホームページへの掲載】  
ご寄附いただいた方のお名前を神戸大学及び経済経営研究所のホームページに掲載させていただきます。
  2. 【銘板】  
一定額以上\*ご寄附いただいた方にはお名前を出光佐三記念六甲台講堂の「神戸大学基金寄附者銘板」に刻み末永く顕彰させていただきます。  
さらに、兼松記念館正面玄関に「経済経営研究所100周年記念事業寄附者銘板」を新設し、重ねまして、お名前を刻み末永く顕彰させていただきます。  
(\*個人：10万円以上(累積)、法人・団体：100万円以上(累積))
  3. 【記念椅子】  
一定額以上\*ご寄附いただいた方には、出光佐三記念六甲台講堂の椅子のプレートにお名前を刻印し、末永く顕彰させていただきます。(席数限定)  
(\*個人：100万円以上(累積)、法人・団体：500万円以上(累積))
  4. 【感謝状の贈呈】  
一定額以上\*ご寄附いただいた方には、感謝状を贈呈させていただきます。  
(\*個人：100万円以上(累積)、法人・団体：500万円以上(累積))
- ◇上記1.~3.はご辞退することも可能です。ご寄附いただいた方には金額に関わらず研究所長よりお礼状をお送りし、今後研究所の各種催しのご案内を差し上げます。  
さらに、一定額以上\*ご寄附いただいた方には記念刊行物『経済経営研究所100年の歩み』を贈呈いたします。  
(\*個人：10万円以上(累積)、法人・団体：100万円以上(累積))



### ■お問合せ先

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1  
神戸大学経済経営研究所 総務係  
電話 078-803-7270 FAX 078-803-7059  
E-Mail 100kinen@rieb.kobe-u.ac.jp